

令和元年度事務事業評価シート(平成30年度実績)

◎基本情報

事務事業名	鳴門市学校・幼稚園防災対策事業		担当部署	教育委員会 学校教育課	
総合計画体系			根拠法令 計画など	鳴門市地域防災計画 鳴門市学校・幼稚園防災推進計画	
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがいを感じるまちづくり	事業期間	開始	平成 <input type="text" value="26"/> 年度
政策(中項目)	3	たくましく生きる力を育むまち なんと			終期
(小項目)		学校教育			
施策	3	義務教育の充実			
基本事業	6	生命を守る防災安全教育の推進			

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 本市の市立幼稚園・小学校・中学校						
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	「鳴門市学校・幼稚園防災推進計画」に基づき、本市の幼児・児童・生徒及び職員の災害発生時の安全確保対策の推進と一時避難に必要な災害対応備品等を計画的に整備するとともに、防災教育及び防災管理・組織活動の充実と推進を図る。						
事業計画	30年度に何を計画していたか	「鳴門市学校・幼稚園防災推進計画」に基づいた取組の推進 ①学校防災推進会議の開催(年2回程度) 重点取組項目の決定、取組状況の検証、計画の修正 ②学校防災推進会議実務者部会の開催(年3回程度) 重点取組項目についての取組の推進						
成果目標	事業目標の達成度合	指標名	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	単位
		重点取組項目数	6	2	7	-	-	個

◎実施結果(DO)

事業実施内容	30年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	「鳴門市学校・幼稚園防災推進計画」に基づき、学校防災推進会議を年度内に2回開催し、重点取組項目を取り決め、取組状況の検証をするとともに、共通理解事項の確認・改善を図った。 実務者部会は年度内に3回開催し、各地域の自主防災会と連携した避難所運営支援と、学校防災の意識と知識の更新についての取組を中心に進めた。 市内全中学校に防災クラブを設置し、活動を支援した。					
事業実施手法		<input checked="" type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他					
指標名		29年度実績	30年度実績	元年度目標	2年度目標	3年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1 学校防災推進会議開催数	2	2	2	2	2	回
	2 実務者部会開催数	3	3	3	3	3	回
成果指標 対象にどのような効果があったかを示す指標	重点取組項目数	6	2	-	-	-	個
	目標達成率(実績/目標)	100.0		-	-	-	%
今年度の進捗状況	計画どおり	事業全体の進捗状況		計画どおり			

(千円)

財源内訳	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
	平成30年度	当初予算額	0	0	0	0	150	150
		補正予算額	0	0	0	0	0	0
		繰越予算額	0	0	0	0	0	0
		全体予算額	0	0	0	0	150	150
		決算額	0	0	0	0	130	130
		繰越額	0	0	0	0	0	0
		人件費	正規職員(7,321千円/人)	臨時職員(2,125千円/人)		総人件費		総事業費
		0.3	0.0		2,196		2,326	

事業費推移	年度	29年度決算	30年度決算	元年度	2年度	3年度
	事業費	642	130	150	150	150
	うち一般財源	342	130	150	150	150
	人件費	2,170	2,196	2,196	2,196	2,196
	総事業費	2,812	2,326	2,346	2,346	2,346

◎項目別評価(CHECK)

評価項目		評価値	所見欄
①活動に対する評価	有効性	B:概ね有効性があった	今年度は、避難所運営の中で学校が果たす役割についての先生方の意識を高めることができた。
	効率性	B:概ね効率的だった	推進会議で重点取組項目を定め、実務者部会で具体的に取組んでいくという進め方は効率的であった。
②成果に対する評価	指標名	重点取組項目数	
	目標	2	個
	実績	2	個
	評価	A:目標を達成できた	
③総合的な評価		<b>B</b>	実務者部会における項目の取扱いの違いはあったものの、全ての項目に取り組むことができた。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	重点取組項目のそれぞれの項目について、より実効性のある取組にしていく必要がある。学校によって、地域連携しやすい地域とそうでない地域があり、取組に違いがある。今後は、小学生の意識調査を行うなどして実態把握に努め、その結果を基に、学校・地域・保護者が一丸となって防災教育の取組を推進していく必要がある。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	<b>4</b>
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	R1年度	「鳴門市学校・幼稚園防災推進計画」に基づき、取組を推進する。 実務者部会において、地域自主防災会と話し合える場を設定し、地域連携を強化していく。 市内全小学生を対象とした津波防災意識調査を実施し、その結果を基に学校・保護者・地域への啓発を行う。市内中学校に設立した防災クラブについて、継続して活動できるよう支援を行う。			
	R2年度	継続実施			